

## 第2回 湖北圏域地域医療構想検討会議 議事概要

日 時： 平成27年12月18日（金）18:00～19:30  
場 所： 滋賀県湖北合同庁舎 第1会議室  
出席委員： 別紙名簿のとおり  
欠席委員： 畑下委員、谷口委員、畑野委員、永田委員、桐山委員、樋口委員、  
          膽吹委員、木村委員  
事 務 局： 長浜保健所 苗村所長 浅田主席参事 丸田次長 他関係職員

### 議事の経過概要

開会宣告 18時00分

### 議 題

#### 1. 湖北圏域地域医療構想検討会議 経過報告について

資料1に基づき事務局より説明が行われた。

#### 2. 滋賀県地域医療構想【湖北区域】の素案について

議題1に引き続き、資料2-1、2-2、2-3、参考資料1、参考資料2に基づき事務局より説明があり、その後質疑応答、意見交換が行われた。

その概要は次の通とおりであった。

（座 長）医療需要に対する供給調整の検討にあたり、慢性期病床の目標設定について「パターンA」か「パターンB」か。供給調整について「患者住所地ベース」か「医療機関所在地ベース」かの選択が求められており、専門部会では、現状において特に慢性期の区域内完結率が低いことから「パターンB」と「患者住所地ベース」を選択するとともに、地域医療構想に付帯意見等を付すこととした。これらについて、各委員のご意見をいただき会議の総意としてまとめたい。

（委 員）医療機能別の区域完結率をみると、高度急性期、急性期、回復期は80～90%と区域内医療機関で完結できているにもかかわらず、慢性期は25%不足である。医療機関ベースとした場合、10年後もこの状況が続くということである。専門部会では、この状況があるべき姿として適当でない。だから患者住所地ベースを選択すべきということにまとまったと理解するが、それであれば、付帯意見について、もっと強く記載すべきと考える。

（座 長）滋賀県医療審議会では医療機関所在地ベースの考え方が示されておりますが、ただ今のご意見は湖北の現状に即したご意見と思います。

(委 員) 滋賀県医療審議会の考え方は湖北圏域では現実離れしている。湖北圏域では慢性期病床の区域内完結率が極端に低いにもかかわらず、県全体の考え方で押し流されてしまいそうで非常に不安感を持っている。

(委 員) 地域の医療は地域で完結するというのが最も大切な考え方。患者住所地ベースを選択することを明確に記載すべき。

(委 員) 附帯意見は大変適切に記載されており、ここが議論の根本と思います。付帯意見でなく構想に盛り込まれるべきと考えます。

(委 員) 住民主体で考えた場合、患者住所地ベースで考えるべき。また、病床の問題と併せて在宅療養における訪問看護や介護、24時間サービス提供体制、それに携わる人材確保なども課題と考える。

(委 員) 地域完結型の医療を望むとともに、医師不足が課題なので必要な施策の展開が必要。

(委 員) 地域包括ケアシステムの構築が言われている。住民の住み慣れた地域で暮らし続けたいという願いに応えるためにも患者住所地ベースで進めていただきたい。

(座 長) 委員の皆様からご意見をいただきましたが、慢性期病床の目標設定については「パターンB」。供給調整については「患者住所地ベース」との意見で一致したものと受け止めております。また、付帯意見については強調いただくように修正した上で県へ報告すること。

なお、附帯意見の修正については、座長と事務局に一任いただくということ。以上でよろしいでしょうか。

(異議なし)

(座 長) ありがとうございます。それでは、ただ今の議論を湖北圏域地域医療構想検討会議の総意として「滋賀県地域医療構想【湖北区域】素案」を一部修正した上で、県へ提出することとします。事務局よろしく申し上げます。

(事務局) 座長はじめ委員の皆様には熱心なご議論ありがとうございました、本日、提示した(素案)を事務局で一部修正させていただき、座長に確認にいただいたうえで県に提出させていただきます。

長浜保健所長あいさつ：苗村所長挨拶

閉会宣告：19時30分